

## 地域の見守りを行います

### 大河原町ながら見守り隊結成式

10月3日、役場3階大会議室を会場に、「大河原町ながら見守り隊結成式」が行われ、隊員登録した56名のうち23名のかたが参加しました。

ながら見守りとは、腕章とネームプレートを身に付けて、ウォーキングや買い物、犬の散歩等をしながら、地域を見守る活動です。これにより「周囲から見られている」という犯罪者が嫌う環境がつけられ、地域の犯罪抑止力を向上させることができます。

町では隊員を随時募集しています。お問い合わせは総務課行政係(☎0224-53-2111)まで。



▲隊員代表の高橋政夫さんによる入隊者宣誓。

## 交通事故撲滅を目指して

### 秋の交通安全運動合同出発式

9月21日、総合体育館を会場に、秋の交通安全運動合同出発式が行われました。

出発式では、交通安全母の会武山会長による交通安全の誓いや、警察車両による出発パレードが行われました。その後はフォルテに移動し、訪れる買い物客に啓発品を配布し、交通安全を呼びかけました。

近頃は日没も早まりました。町では「夕方早めのライトオン運動」として、車両ライトの早めの点灯を呼びかけています。皆さんも早めの点灯を心掛けましょう。



▲フォルテを訪れる買い物客に向けて啓発活動を行いました。

## みんなを笑顔に 金小祭

10月20日に金ヶ瀬小学校で「金小祭」が開催されました。児童は練習してきた成果を大勢の参観者の前で堂々と披露しました。今回、5年生の出し物では、「大河原町の先人集」などでも取り上げられている「松山京子先生」の半生を、金ヶ瀬小学校オリジナルの台本・歌詞・音楽で表現した創作オペレッタ「松山京子先生物語」が披露され、参観者に感動を呼びました。児童の一生懸命な姿に会場は大きな拍手とたくさんの笑顔で包まれました。(関連記事：13ページ学び舎通信)



▲体育館に力強い歌声が響きわたった創作オペレッタ。 ▲1・2年生は元気いっぱい「YMCA」などを熱唱。

## 伝統を守り続ける 第38回もがり祭

10月20日、南小学校で「もがり祭」が開催されました。もがり祭は、児童が野菜などの栽培を体験し、働くことのありがたさや収穫することの喜びを学んだことに感謝するお祭りとして南小学校に代々受け継がれてきた伝統行事です。祭に先立ち、10月16日にはもがりパレードが行われ、児童が手づくりおみこしを担ぎながら学区内を練り歩きました。祭り当日は、ゲームやもちつき体験、さらには自分たちで収穫した野菜などが入った「もがり鍋」やつきたてのおもちを、家族や地域の方と一緒に食べながら交流を深めました。



▲声を合わせて「ワッショイ、ワッショイ」。 ▲みんなで食べるもがり鍋やつきたてのおもちが格別。

## 地域を守る大きな力

### 大河原町消防団消防演習・軽四輪消防ポンプ付積載車交付式

10月14日、大河原河川公園で、「大河原町消防団消防演習」が開催されました。当日は、多数の来賓や地域のかたが見守るなか、「規律訓練」や「ポンプ操法」、「分列行進」、そして最後には迫力の「実地放水」が披露され、団員たちの見事に統制された動きに、参観者からは大きな拍手が沸き起こりました。消防団員の日頃の訓練の成果を発揮する良い機会となりました。

また、前日13日には、消防演習の予行演習と合わせて、「軽四輪消防ポンプ付積載車」の交付式が行われました。今回、交付を受けたのは、大河原町消防団第6分団第14班で、交付式では、藤田副町長から大河原町消防団加藤勇治郎団長へ積載車の目録が手渡され、さらに加藤団長から第6分団佐藤博分団長へ手渡されました。

今後も、町民の安心安全を守るため、消防団の活躍と機動消防力の強化が期待されます。



▲機敏な動きでホースをつないでいく「小型ポンプ操法」。



▲加藤団長(右)から目録を手渡される佐藤分団長(左)。

## 毎年恒例のお楽しみ 上谷児童館こどもまつり

9月29日、毎年地域の子もたちの楽しみになっている「上谷児童館こどもまつり」が開催されました。

オープニングでは児童クラブの子もによる手話「大きな古時計」が披露されました。その後、子どもたちはストラッカー、水中コイン落としなどの各コーナーに一目散に駆け寄り、あっという間に長蛇の列ができあがっていました。

会場にはゲームのほかに、味噌おでんやのり巻きなどの食べ物コーナーも用意され、家族で楽しめるイベントとなりました。



◀めがけてナイスピッチング!